



平成 28 年 3 月 30 日

各 位

会社名 北海道瓦斯株式会社  
代表者名 代表取締役社長 大槻 博  
(コード：9534、東証第一部・札証)  
問合せ先 執行役員スマートエネルギーシステム&ネットワーク推進事業部長  
前谷 浩樹  
(TEL. 011-207-7233)

## 石狩 LNG 基地内における高効率ガス発電設備の建設に関するお知らせ

当社は、平成 28 年 4 月より、低圧分野を含む「北ガスの電気」を販売いたしますが、今後の電力事業の進展を見据え、当社が運営する石狩 LNG 基地内に「高効率ガス発電設備」を建設することを決定いたしました。これにより、外部からの調達電源と自社電源の最適な組み合わせをはかり、効率的で安定的な電源ポートフォリオを構築し、総合エネルギーサービス事業を着実に推進してまいります。

今回、建設する発電設備は、世界最高級の発電効率 約 50%相当（石狩設置ベース）を有し、運転時に排出する二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）や窒素酸化物（NO<sub>x</sub>）が少なく、また温排水を周辺海域に一切排出しない方式を採用することで、環境影響に最大限考慮した発電システムといたします。

さらに、発電時に発生する排熱を全て LNG 基地のガス製造用熱源として活用することで、総合的なエネルギー効率の向上をはかり、省エネ・省 CO<sub>2</sub>を推進するとともに、ガス製造原価の低減に結び付けることで、環境負荷低減とガス事業への相乗効果が期待できます。

当社は、今後もガスと電力を組み合わせた最適なエネルギーサービスを通じて、最小のエネルギーで快適な暮らしを実現する、北海道に適した新たなエネルギー社会をお客さまとともに創造してまいります。

尚、本工事に伴う業績への影響は軽微であると見込んでいます。今後開示すべき事項が発生した場合には速やかにお知らせいたします。

### ■ 高効率ガス発電設備の建設概要

【発電システム】	高効率ガスエンジン（燃料：天然ガス、LNG基地で生じるBOG※） ※LNGタンク内で自然気化した天然ガス
【発電容量】	78,000kW（将来的に100,000kWまで拡張予定）
【設置台数】	7,800kW ガスエンジン×10台
【発電効率】	約50%相当（石狩設置ベース）※世界最高効率
【総合エネルギー効率】	約80%（発電時の排熱をLNG基地で活用）
【機器性能】	起動後10分以内で最大出力に達し、幅広い負荷範囲で高効率発電が可能
【着工】	2016年10月
【運転開始】	2018年10月
【住所】	石狩市新港中央4丁目3743（石狩LNG基地内）
【総事業費】	約100億円（近接する変電所への送電線敷設工事等を含む）

以 上